

未来のわがまちに願うこと

東中学校 3年

中野 真由美

今、河内長野市は様々な面で発展し、昔と比べると大分賑わっています。

私の住んでいる所も、駅前開発によって雰囲気が変わってきました。

これからどんどん変化していくだろう景色を見ていると嬉しい気持ちとともに、少し寂しい気もしています。

けれど住みやすい素敵な町になったらそれが一番。

例えば、道路のコミュニティ化が進められたら子供やお年寄りが安全な通行ができるし事故も減っていくと思います。

それから自然環境に関しても、残していかななくてはいけない部分はあると思います。私の住んでいる所ではすぐ家のそばにキジが巣をつくっていましたが最近は何も姿を見なくなり、とても残念に思っています。

最後に、河内長野は水の都と云われている所です。水質汚染が進んでしまって、飲み水が悪くなったり、虫などの生き物が住めなくなったら……。

今までのことで私が思っているのは、未来の河内長野が、住みやすさばかりを重視して他の大切な部分を軽くみてしまうような街になってほしくないということです。

そればかり考えていると、結果的に街は荒み、住んでいる人の気持ちもマイナスに向ってしまって、最後には住みにくいイヤな街になってしまおうと思います。

だからこそ私が未来の河内長野のまちに望んでいることは、人の心が豊かであり続けられるような街。自然との調和が成り立っている街……。

望むだけではつくって行けないものだけど皆が手を取りあっていけば

きっとできるものだと思います。

十年後、二十年後の河内長野がどんなまちになっているのか。それは誰にも想像できないことだけれど、賑やかで大きなまちになってほしいです。

河内長野がどの街よりも素敵な「良い街」になりますように。